

令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 コスモス城南学園
八幡みなみ幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・家庭的な雰囲気の中で知育・德育・体育のバランスの取れた子どもを育む
- ・思いやりを持ち、豊かな感性を持つ子供を育む
- ・自分で考えて行動できる子ども、自ら遊びをつくる元気な子どもを育む

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・幼児一人ひとりの思いを大切にした保育の展開
- ・幼児の安全な園生活の保障

3. 評価項目の取り組みと成果 取組と成果に関する評価結果…A:とても良い B:良い C:普通 D:良くない(要検討)

自己評価結果の総括表

重点的に取り組む目標 ①	評価項目	評価指標及び評価結果							意見・説明
		基準	取組指標	取組結果	基準	成果指標	成 果 結果	総括評価	
幼児一人ひとりの思いを大切にした保育の展開	① 幼児が主体性を持つ遊びを進めるための環境の構成	1	幼児が自ら考えたり工夫したりする環境作りに努め、環境の再構成を行う	2.5	4	自己発揮しながら環境に関わり自ら遊びを展開できるようになる	3.0	C	・季節に合った制作を行い飾ったことで子供たち同士作品を見せ合ったりする様子が見られた ・子どもがしたい遊びを自ら選べるように環境構成を工夫すると自分たちでコーナーを作り自由に行き来する姿が見られ、集中して遊びこむようになった ・自分で
		1	連続して遊べるように幼児が作った物を部屋に飾ったりクラスで紹介したりする		3	自ら喜んで作ったものを見せてくれるようになった。			
		1	幼児の遊びの中に一緒に入り、楽しさを共有する		2	教師が加わることで楽しんで遊ぶ幼児が増える			
		1	幼児一人一人の興味関心をよく観察する		1	まだ何をして遊べば良いか分からない幼児がいる			

重点的に取り組む目標 ①	評価項目	評価指標及び評価結果							意見・説明
		基準	取組指標	取組結果	基準	成果指標	成 累 結果	総括 評価	
幼児一人ひとりの思いを大切にした、保育の展開	自分の思いを表現し教師や友達に伝え合う保育の展開	4	自分の思いや言葉を伝え合う喜びが感じられるような場面を設定したり遊びの内容を工夫する	3.0	4	遊んでいる友達同士で共感したり意見を出し合って遊ぶ姿が増えてきた	3.1	B	・自分たちの思いを身振り手振りで表現できるようになり、お互いの思いを共有して言葉で伝えると、困っていることや分からぬことが解決できるようになってきた。笑顔になれるような結果を目指していった。
		3	幼児の表現している言葉を受け止め、伝わった喜びを感じ取れるように共感する		3	教師や友達に自分の思いを伝えたり相手の話を聞いたりするようになってきた			・クラスの多くの子が自分で言葉として伝えられるようになってきたが、数名、言葉が出なくて手が出たり、トラブルになる子がいるが、本人の言葉での聞き取りが難しく、うまくいかないことがあった。
		2	一人一人の表現を受け止め言葉で返していく		2	自分の思いが相手に伝わったことに満足感を味わうようになった			
		1	いつも幼児の表現を観察し、幼児の思いを感じ取る		1	自分の思いや知っていることなど聞いてもらいたい気持ちを表現や態度で示している			

1→もう少し頑張ってほしい姿 2→普通のレベル 3→ 少し育ってきたなと思うレベル 4→すごく育ってきたとおもう

重点的に取り組む目標 ②	評価項目	評価指標及び評価結果							意見・説明
		基準	取組指標	取組結果	基準	成果指標	成果結果	総括評価	
幼児の安全な園生活の保障	内外での安全点検や、教師幼児の安全意識を高める	1	園内外の危険な場所や避難路をマップ化して共通理解する	2.1	1	危険な場所を発見したときは確認し全員で共有するようになった	2.1	B	・遊具の使い方は理解しているが遊びなれた遊具ということもあり、逆から昇り降りする子がいるので留意していく必要がある。
		1	園内外の清掃を徹底して教具、遊具の破損等が無いか点検する		1	怪我をした時は保護者に経緯を伝えるようにして理解してもらえるようになった			・どの場所で怪我しやすいかを子どもたちと共有するが出来て怪我が減ってきた。
		1	避難訓練を行い幼児の安全に対する意識を高める。		1	計画書を作成し、全職員で共有し合うようになった。			・避難訓練では、子どもたちに絵本やペーパーサートで『お・は・し・も』の約束をスムーズに伝えることが出来、安全に避難することが出来た。
		1	保育の中で感じる『ヒヤリハット』を幼児と一緒に考え安全を意識していく		1	幼児の怪我が少なくなった			

4. 総合的な評価結果

B	子どもたち一人ひとりが自分からやりたい遊びに取り組めているのか見直す機会を持つことが出来て教師にとって新しい発見があり、子どもたちも遊びの展開が広がり、充実した時間を過ごすことが出来た。 ・危険な遊び方や、危ないところを子どもたちや教師間で共有することで、怪我が減り、楽しく遊べる姿が見られるようになりマップ化して話し合いの場を持っていきたい。
---	---

5. 今後取り組む重点課題

課題	具体的な取り組み方法
1 預かり保育の環境整備	年々利用する園児が増えている。安心して過ごせるよう遊びの選択を広げていく
2 教師間のスキルアップを図る	若い教師ならではの新しい発想とベテラン教師の経験とが連携し、具体的方法を研究し園内公開保育等を等して学びの機会を持つようにしていく

園に入ると子どもたちも、先生たちも笑顔で挨拶をして迎えてくれることに好感が持てます。園行事では子どもたちが、自分なりの思いを表現してくれて入園してからの成長を感じられました。

子ども達、一人ひとりが主体性を持ち遊べるように配慮し、園生活での安全面を考え一生懸命、保育に取り組んでいる姿に感謝しています。

今後子どもたちが思い切り羽ばたいていける環境になるよう願うばかりです。

学校関係者 評価委員 _____

学校関係者 評価委員 _____

学校関係者 評価委員 _____

学校関係者 評価委員 _____

学校関係者 評価委員 _____